施策番号	13-01-①	
施策名	草津川跡地の整備	

施策の概要

草津川跡地について、質の高い「緑空間」といった市民の憩いの場、災害時避難の場などとしての活用を図るため、市民ニーズを踏まえながら整備を進めます。

成果指標(単位)	整備進捗率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	20	40	40
実績値	10			

成果指標実績に対するコメント

平成25年度より事業用地の取得に着手したことから、整備進捗率を10%とした。 ※整備進捗率については、総事業費のうち執行済事業費の割合を面積に換算して計上。

施策の達成度評価

平成25年度より事業用地の取得に着手し、優先整備区間である区間②(メロン街道〜浜街道)および区間⑤ (JR琵琶湖線〜国道1号)用地の約9割を取得した。さらに、平成26年度からは、優先整備区間において、引き 続き事業用地の取得を行うとともに、造成等工事に着手する必要がある。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

平成27年度は、優先整備区間において引き続き造成等工事を行うとともに施設整備等の工事に着手し、事業の進捗を図っていく。

做等宝结 !	- 影郷たり	ラたか	的要因そ(の価性記事	百百
		- 4 1 7	トロリチンハイし	ノノ リレイせ おこ 田	+ 14

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津川跡地整備事業 草津川跡地整備		0	平成25年度より用地取得に着手し、事 業用地(うち約9割)を取得した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	13-02-①	
施策名	公園・緑地の整備	

施策の概要

緑の基本計画に基づき、緑化重点地区と都市公園の整備を進めるとともに、子どもの居場所の適切な整備を 行います。

成果指標(単位)	都市公園等の面積(ha)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	73.3	76.1	78.8
実績値	71.8			

成果指標実績に対するコメント

桜ケ丘緑地の寄附を受けたことにより、3. 4haの都市緑地を確保することができた。

施策の達成度評価

国からの補助を受け都市公園の整備を進めるとともに、市民が安心して利用することができる施設となるよう、 児童公園・児童遊園の再整備・改修を行うことができた。今後は、人口が集中する市街地において野村公園、 野路公園の整備を進める。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

野村公園、野路公園の整備を進めるとともに、平成26年度に策定予定である公園施設長寿命化計画に基づく 効率的、効果的な公園施設の維持管理、改修を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

中心市街地活性化基本計画に基づき、野村運動公園内の施設改修を含む周辺施設の整備を都市公園事業と して行うこととなり、公園の不足する市街地において公園整備が可能となった。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由		
ロクハ公園整備事業	公園緑地課	0	平成25年度末までの事業期間内に一定の整備が完了し、平成26年度当初に3.3haを供用開始することができた。		
ロクハ公園運営事業	公園緑地課	0	指定管理者による適切な運営により、2年 連続で8万人を超えるプール利用者があ り、事故なく安全に利用していただけた。		
児童公園等維持管理事業	公園緑地課	0	地元町内会等利用者の意見を聞きなが ら、児童公園等の再整備を行い、整備後 は快適に利用していただいている。		

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
野路公園整備事業	公園緑地課
野村公園整備事業	公園緑地課
弾正公園運営事業	公園緑地課
公園関係団体負担金事務	公園緑地課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	13-02-2
施策名	まちなみ緑化の推進

施策の概要

それぞれの住宅などの緑化や、ガーデニングによる市民参加の公共空間緑化を促進するとともに、緑化フェア 等を通じたまちなみ緑化の普及啓発を行います。

成果指標(単位)	植樹率(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	50	60	70
実績値	69			

成果指標実績に対するコメント

第2次草津市緑の基本計画において、平成32年度までに5万本、年間5,000本の植樹を目標としている。平成 25年度の開発行為等による民有地の緑化本数は、目標を大きく上回る12,986本であった。

施策の達成度評価

開発行為等における事務の際に、緑化の重要性を説明し、緑化協力を求めた。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

緑化啓発を継続して行うとともに、市民参加による緑化の取り組みを進めます。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

近年のガーデニングブームにより、民有地においても緑化が進み、植物のもたらす安らぎ、癒しの効果が理解 され、緑化の重要性が認識されている。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ガーデニング推進事業	公園緑地課	0	平成24年度事業を継続し、平成26年度から自主的、自立的活動を行う素地ができた。
花街道推進事業	公園緑地課	0	湖岸緑地にコスモス、スイセンの植栽が市 民との協働により実施できた。
緑化推進事業	公園緑地課		緑化フェアを開催したほか、宿場まつりや 環境イベントでの緑化啓発を実施した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	13-02-3	
施策名	水辺空間の活用	

施策の概要

恵まれた水辺環境を、まちと市民生活のうるおい資源・親水空間として整備し生かします。

成果指標(単位)	平湖・柳平湖公園および狼川河川公園の供用開始面積(ha)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	0.8	0.8	0.8
実績値	0.1			

成果指標実績に対するコメント

平湖·柳平湖公園整備事業の平成25年度整備済みの中ノ島ゾーン0.1haを供用開始した。

施策の達成度評価

平湖・柳平湖公園整備は、滋賀県が実施した親水護岸工事場所を市民が利用しやすい施設になるよう駐車場、トイレ、パーゴラ等を設置した。平湖・柳平湖公園および狼川河川公園は、平成27年度供用開始に向けて整備を進めている。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

誰もが利用しやすい施設となるよう、地域住民に計画段階から参画していただいており、供用開始後は、水辺 空間を利用したイベント等の開催をしていただくよう調整を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

公園整備にあたっては国の補助金を財源にしているが、要望額どおりの配当が得られていない。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
平湖·柳平湖公園整備事業	公園緑地課		平成27年度供用開始に向けて工事を実施し、一部供用開始ができた。
狼川河川公園整備事業	公園緑地課	0	平成27年度供用開始に向けて工事の実施した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

施策番号	13-03-①	
施策名	自然的・歴史的景観の	保全と活用、都市景観の形成

施策の概要

琵琶湖や田園などの広がりのある自然や、宿場町の佇まいが残る旧街道の歴史的なまちなみなどの良好な 景観を保全・活用するとともに、うるおい豊かで心地よさが感じられる市街地景観の形成を図り、良好な景観形 成を推進します。

成果指標(単位)	市民および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	29.2	31.7	33.2
実績値	32.1			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、市民および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合は前年度より5. 9%上昇した。これは、学区において「まちあるき」や「くさつ景観スケッチ」等を実施したことにより、地域の良さ を再認識していただいた結果であると考える。成果指標の実績値は調査年度により増減があるものの、第5次 総合計画の目標値以上の数値となるよう、継続して取り組んでいきたい。

施策の達成度評価

美しい景観を市民共通の財産として、次世代に引き継ぐため、草津市特有の景観を「くさつ景観百選」として選定したり、スケッチやまちあるきを行ったり、地元資源の魅力の再発見に努めた。また、屋外広告物については、モデル地区を中心に事業者への啓発・指導による適正管理を行い、良好な景観形成に取り組んだ。

評価に基づいた平成27年度取組みについての考え方

景観を生かしたまちづくり推進事業については、地域の景観資源の発見と認識をさらに深めることにより、地域の景観への愛着や取り組みの機運が高まるよう、市民等の主体的な景観づくり活動を支援する必要がある。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成25年11月に「びわこ大津草津景観宣言」を大津市と草津市と共同で行い、両市が連携した事業を実施したことにより、景観に対する関心が高まった。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
景観を生かしたまちづくり推進事業	景観課	0	草津市特有の景観を次世代に引き継ぐため、「くさつ景観百選」を選定したり、各学区にてスケッチやまちあるきを行った。また、広域的な景観の取り組みとして、「びわこ大津草津景観宣言」を大津市と共同で行った。
屋外広告物管理事務	景観課	0	屋外広告物を規制し、良好な景観を形成するため、事業者への啓発・指導および除却ボランティアとともに違反広告物の簡易除去を行った。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域街なみ形成推進事業	都市計画課
風致地区審査事務	景観課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 〇 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった